

びとう和広後援会ニュース

2015. 9. 24

第 40 号

発行責任者
小倉義彦

安心と元気の
三田めざして

これからも
頑張ります！



政策研究会長として
三田の課題を説明
(関西学院大学にて)

7/14

仲秋の候、後援会の皆様には、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年の夏も、不順な天候で豪雨・竜巻・火山噴火など災害が各地おきています。北関東はじめ多くの亡くなられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

自公政権は、数の力で、集団的自衛権を盛り込んだ安保法案を強行に可決しました。ほとんどの憲法学者が憲法違反と言い、国民の80%が説明不足・60%が反対という世論を無視し、「丁寧な説明」は時間をかけただけで、到底納得できるものではありません。「後世に評価が得られる」と言うのなら、現世でそれなりの根拠を説明し、戦闘に巻き込まれる自衛隊の方々や、さらには、日本に対する攻撃やテロへの懸念を払拭して欲しいものです。全ては選挙で安定多数を与えた国民にツケが回されるのです。

今年7月26日投票・開票の市長選において、4名立候補の激戦を制した「森哲男新市長」が誕生し、8月10日に初登庁されました。

「子どもに夢を、高齢者に安心を、地域に元気を」の公約と、着任にあたり、次の3点を目標に掲げられました。

- ①市民の生命と生活を守る。
- ②日本一住みたいまちを目指す。
- ③県での行政経験を糧に新入職員の気持ちで職員・市議会とともに市政運営を進めていく。

私は新市長に9月議会のトップバッターで一般質問しました。(詳細中面)

また、昨年10月より市議会に発足した政策研究会の活動として、関西学院大学や商工会・農業協同組合など多くの団体と意見交換会を開催しました。(上の写真はその様子)

後援会活動も、三菱電機関連労組や連合加盟団体のご協力を戴きながら、かにツアー・潮干狩り・市政報告会・市政懇談会など進めてまいりました。また、今年はおータムフェスティバルが10月3日に開催され、びとう和広後援会も、例年同様、「くじ引き」コーナーを開設します。多数のご来場をお願い申し上げます。

これからも、皆様の声をお聞きし、市民サービスの向上、安心安全・活気活力のある三田に向け、精一杯頑張らせて参ります。皆様におかれましては、一層の力強いご支援・ご協力とご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願っています。



三田市議会議員
びとう かずひろ 和広

びとう和広の活動日記

今年になってからの活動の一部をご報告いたします。
 今年は、特に三菱電機三田製作所以外での活動が活発になり、いろいろな「対話」ができました。



西部研支部では例年新人研修で報告しています。1/30

三菱電機労組西部研支部にて市政報告会開催(尼崎市)三田支部で行っているパワポイントを用いた報告を、初めて他支部で開催し、多くのご参加を頂きました。

三田市新庁舎完成
 三菱電機三田製作所からサインテレビ(1階ロビー)と大型テレビ(3階市長公室)が寄贈されました。



2/17



三菱電機関連労組三田連絡会
 ファミリー行事(いちご狩り&バーベキュー)に参加し、ご挨拶させていただきました。

4/11

第3回議会報告会
 第3グループを担当し、過去最高の参加者から、多くの活発なご意見を頂きました。



5/2



三田市議会政策研究会
 議会から条例提案して行くための研究会で、今年「(仮称)三田ふるさと産業振興条例」に向け、関学・商工会・JAなど、各団体との意見交換会を実施。

7/14

安保法制反対行動
 三田駅前
 議論も不十分な状況での強行採決に対し、法案の課題や危険性と、これからの対応を訴えました。



9/15

びとう和広の一般質問

問: 質問、市: 市答弁

6月議会と9月議会で一般質問を行いました。
 ここでは、9月議会の質問について報告いたします。

1. 森新市長の方針

問: 急激な少子高齢化と人口減少への対応は?

市: <答弁> 人口維持は大きな課題である。
 若者の定住と雇用環境を整え、「子どもに夢を、高齢者に安心を、地域に元気を」の実現を図る。

問: 持続可能な三田の発展のためにどうする?

市: バランスの良い人口構造を維持し、若年から中高年まで多世代に亘り、まちづくりに関わり、三田を愛し、誇りに思うひとを増やす。

問: シティセールスの目的と進め方は?

市: 転出抑制と定住促進が第一。交流人口の拡大で産業振興・地域経済活性化、ブランド力向上で、定住人口促進し「住みたいまち日本一」を実現。

2. 地域の医療と介護の連携 (右ページ参照)

問: 市民病院の課題をどう考えるか?

市: 医師・看護師確保に注力する。
 増築してフロアごとに改修する案は、平成28年3月策定の県計画待ち。急性期医療維持を訴える。

問: 地域医療連携と医療介護連携の進め方は?

市: 現かかりつけ医との連携を維持・強化する。

問: 在宅医療・介護への対応

市: 現在福祉圏域で対応し、県の計画改定策定待ち。

3. 三田市保有施設の運用と活用 (右ページ参照)

問: 市保有施設白書を作成しては?

市: 必要と考え、作成中。近々公開する。

問: 三輪・三田地区の市民センターがない。公民館とまちづくり協働センターの扱いは?

市: 公民館は三田地区の市民センターとして、まちづくり協働センターは三輪地区の市民センターとしても運用できるよう進める。

問: 今後の統廃合・転用・再利用計画は?

市: 公共施設等総合管理計画を平成28年度中策定。



8/10

森新市長の初登庁

森新市長の初登庁
 立候補4名の激戦を制し
 7代三田市長に着任。
 元阪神北泉民局長等歴任。

9月議会が9月16日に閉会となり、9月24日～30日に、平成26年度三田市一般会計・特別会計・企業会計の決算審査が行われます。

また、臨時議会が10月23日に開催され、決算審査の採決、補正予算の審議の後、新議長選となります。

びとう和広の視点

■<医療の課題>

(1)三田市民病院

国は医療制度を見直し、**急性期(1*)**病院を減らしていく方針を示し、地域医療構想にも反映されています。

県計画では、三田市は伊丹・川西・宝塚・猪名川と同じ阪神北圏域だが、患者は、7割三田市、他は篠山・神戸北区・三木・丹波など他圏域からです。

県内の公立病院は、**再編や統合(*2)**が進んでいるため、今後の医師・看護師確保が課題となります。

増築してフロアごとに改修する案は、平成28年県策定の地域医療構想待ちのため、市として「急性期医療の維持を訴える」という答弁となりました。

本会議後の委員会で二案が提示。
 <案1>72億円:増築し、大規模改修
 <案2>20億円:機能維持の最小限
 ☆これでは維持だけとなりそう。
 当初40億円程度と聞いていたので**維持と改修は切り分け、市民病院の急性期強化を図るべきと考えます。**

(2) 病病連携と病診連携

兵庫中央病院とはMRI撮影など、済生会病院とは小児救急などで連携。診療所とは、かかりつけ医等として123施設が登録され、紹介受けが55%、紹介出しが86%、年々増加し、新リハビリ病院も建設中で、**連携強化は図られているようですが、高齢化対策には一層見直しが必要**です。

注釈

(1*)急性期: 高度急性期、急性期、回復期、慢性期の医療4段階の一つ。

三田市民病院は急性期病床300床で、2次救急(入院治療を必要とする患者に対応する機関)を担う。

発熱や痛みなど、かかりつけ医に行くのが1次救急。救急車や紹介を受けて2次救急。複合や高度な3次救急がある。

(*2)再編や統合:兵庫県では、以下の再編が行われています。

団体名	再編前	再編後
兵庫県	◎県立尼崎病院(500床) + 県立塚口病院(400床)	◎(仮)県立尼崎総合医療センター(730床)
神戸市	◎(独)神戸市民病院機構 + 市立医療センター + 中央市民病院(912床) + 同 西市民病院(358床)	◎(独)神戸市民病院機構 + 市立医療センター + 中央市民病院(700床) + 同西市民病院(358床)
加古川	◎加古川市民病院(411床) + 神鋼加古川病院(198床)	◎(独)加古川市民病院機構 + 加古川西市民病院(405床) + 加古川東市民病院(198床)
三木市	◎三木市民病院(323床)	◎北播磨総合医療センター企業団
小野市	+ 小野市民病院(220床)	+ 北播磨総合医療センター(450床)
豊岡	◎公立豊岡病院(500床)	◎公立豊岡病院(510床)
朝来	+ 公立八鹿病院(420床) + 日高医療センター(100床)	+ 公立八鹿病院(420床) + 日高医療センター(83床)
公立豊岡病院組合	◎公立朝来梁瀬医療センター(50) + 朝来和田山医療センター(139床)	◎(仮)朝来医療センター(150~180床程度)

■<三田市保有施設のこれからの課題>

(1) 急成長にあわせて建設されたインフラ・施設

1968年(昭和43年)北摂ニュータウン・青野ダム計画の発表から三田市は大きく生まれ変わりました。

1974年(昭和49年)中央公民館落成を皮切りに、以降急激な人口増加に対応して、道路・橋梁・コミュニティセンター・市民センター・文化センター・駅前再開発ビル・環境センター・新庁舎等々の施設が建設されました。

主な施設では

- 1981年(昭和56年)北摂ニュータウン(南地区)入居開始
 - 1988年(昭和63年)青野ダム竣工
 - 1990年(平成2年)三田市立図書館開館
 - 2005年(平成17年)キッピーモール開業・まちづくり協働センター開館、ウッディタウン市民センター開館
 - 2007年(平成19年)三田市総合文化センター開館
 - 2015年(平成27年)新庁舎開館
- この間ほとんどの学校が開校・新築・増設されています。

(2) 老朽化対策と統廃合・転用・再利用計画

これからの少子高齢化を考えると、「いつ、いくら必要か?」の全体を見た上で、長期的な計画や、将来に向けた使用方法を考える必要があります。三田市では、その元となる**施設白書(建築時の費用・資産償却・施設仕様・使用状況・運用費用・修理改修費用など)**をまだ不完全だと公開していません。

私は、この**白書を早く整備し、データを表にして長期的に使用目的や方法を見直し、市民の方にご理解いただき、それに応じた対策・費用計画が必要**だと訴えています。

(3) 学校の統廃合問題

少子化による生徒数の減少に伴う問題です。

市内小学校では、1学年1クラス、さらに1クラス20人以下が多くなっています。中学も1学年2クラスの学校が増えています。今年1月、文部科学省より、公立学校適正規模ガイドラインが出され、「小中学とも、12~18クラスが望ましい」と書かれており、統廃合の議論が必要になっています。

小学校は地域との関係が強く、地域から学校をなくすることは難しいし、各地域の考え方もあるでしょう。

中学校では、望ましい集団生活が体験できない、部活動の数が減り入りたい部活動がない、など、早急な対応が望まれています。部活動は複数学校の合同チームでの活動も進められていますが、本質的な解決とは言えません。

(4) 学校統廃合の議論を開始

竹内前市長は、「自分の任期中は、市が率先して統廃合をしない」と言われておりました。

今回、新市長誕生により、これからの方針が課題となります。今議会では、同じ会派の檜田議員が質問しました。

今回の答弁で、**教育委員会は「子どもの減少で、避けては通れない。議論を始めなければならない状況である。」**とし、市長・市教育委員会で作る「**市総合教育会議**」や、市教育委員会が年末設置予定の「**教育振興基本計画策定委員会**」で議論する方針となりました。

年内に保護者アンケートが行われる予定です。

私は、学校区は地域の考えもあるでしょうが、**子どもたちにとって一番良い環境を念頭においた議論を早く始めるべき、**と考えています。

びとう和広後援会より

びとう和広は「皆様との対話を大切に」をモットーに、

- 1/6: 菱和会館仕事始め鏡開きに協賛
- 2/21: カニツアー…三菱電機労組(三田)との共催
- 3/25: 三菱電機三田製作所構内市政報告会
- 4/3~12: 県議会議員選挙
- 4/22: びとう和広後援会 総会
- 5/8: 三菱電機(三田) OB会「みつ輪会」懇親会
- 6月: 支援労組挨拶訪問
- 6/13: 潮干狩り…三菱電機労組(三田)との共催
- 7/22: 市政懇談会
- 8月: 支援労組挨拶訪問

等の後援会活動を続けています。

皆様のご支援・ご参加・ご協力ありがとうございました。

また、毎月第一金曜日昼休みに市政相談コーナーを開設してまいりましたが、4月から第4金曜定時後も開設しております。ご活用ください。

びとう和広後援会では、10月3日開催の三菱電機オータムフェスティバルに協賛し、後援会コーナーを開設しております。今年も昨年同様、

「くじびきコーナー」を開催させていただきますので、たくさんのご参加よろしくお願い致します。



オータム・フェスティバル
写真は、昨年のくじびきコーナーの様子。

これからの後援会行事としては、
10/9: 三菱電機三田製作所構内市政報告会、
毎月: 三菱電機三田製作所構内市政相談
などを予定しています。

後援会会長の挨拶

後援会会員の皆様方に於かれましては、日頃より力強いご支援・ご協力を賜り、誠に有難う御座います。心より厚くお礼申し上げます。

『びとう和広』は、昨年10月に議長を大過なく終えた後、政策研究会の会長として、頑張っています。

従来の常任委員会や特別委員会に加え、「市議会から条例を提案する」という、活性化した議会のため、「(仮称)三田ふるさと産業振興条例」の提言めざし、多くの団体の声を聴き、力強く邁進しています。

菱和会館鏡開き
総務部長、総務課長、労組委員長、後援会長と共に、歳の始めのお祝いをさせていただきます。



三菱電機労組三田支部と共催の「かにかニツアー」満腹と温泉でニッコリ

兵庫県議会議員選挙、三田地区初の女性候補「池田けい子」さんを支援しましたが、第4位という残念な結果となりました。皆様のご協力ありがとうございました。



三菱電機労組三田支部と共催の潮干狩り心配された天候も、適度な曇りとなり、海を満喫!

市政懇談会
菱和会館に多くの方々のご参加をいただき、盛大に開催できました。今回は、政策研究会の活動や新庁舎周辺の進捗など、手元資料を使い、報告しました。



後援会といたしましては、MELON三田との共催によるカニツアー・潮干狩り、びとう和広市政懇談会などを開催し、活動報告と後援会各位との懇親を深めてまいりました。これからも一層後援会の輪を広げ、充実した後援会にしたいと活動を続けています。

『びとう和広』は、これからも、より多くの皆様のお声を頂戴し、問題解決に向け、全力で活動する所存で御座います。何卒、皆様の倍旧のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

びとう和広後援会会長 小倉 義彦

【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号
三菱電機労働組合三田支部気付
Tel: 079-563-1860 Fax: 079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号
Tel: 079-562-8653, Fax: 079-562-0730
<電子メール> bit@venus.dti.ne.jp
<ホームページ> <http://www.bitokazuhiro.com>